



五條市

五條市デジタル交通サービス検討に関する 地元説明会の実施結果及び今後の取組方針

日時：令和5年1月27日（金）午後1時30分

場所：永谷集会所

出席者：五條市デジタル交通サービス導入推進協議会委員である永谷自治会長
畠山様、利用者代表 吉本様はじめ、地域住民の合計9名

（内容）

- ① 五條市及び地域公共交通を取り巻く課題、「五條市デジタル交通サービス導入推進協議会」の概要及び検討状況について、市から説明
- ② 地域のお困り事などについて意見交換



第2回五條市デジタル交通サービス導入推進協議会

① 第1回協議会の資料等により、五條市の課題及び現状の検討内容等を説明



五條市の公共交通における課題

- ▼ 過疎化による著しい人口減少に加え、自家用車に依存したライフスタイルとなっており、公共交通の利用者が減少
- ▼ 市町村合併により北部の市街地エリアと南部の広大な山間エリアを抱え、それぞれの地域により状況・ニーズが大きく異なり、多様な取組みが求められる。
- ▼ 北部の市街地エリアにおいては、中心市街地地区の高齢化が顕著となっている。
- ▼ 山間エリアにおいては過疎化が深刻となっており、地域社会の機能が失われつつある。地域公共交通を含めた複合的な対応が必要。
- ▼ 広大な山間エリアにおける道路網の維持管理に多大な経費と労力を要する。
- ▼ 地域公共交通への財政負担が大きい。(過疎地域のため、都市部より効率性が劣る。)
- ▼ 地域公共交通の担い手の不足及び高齢化



五條市の公共交通における課題

特に南部山間地域においては…



路線バスやコミュニティバスの運行は主要道路（谷筋）のみ

民家は主要道路から離れた山腹に点在

⇒ 停留所までのアクセスが困難（バスを利用できない。）

過疎化が深刻となっており、地域社会の機能が失われつつある。

⇒ 近所での助け合いの限界（隣近所だれもない。）

地域の高齢者が孤立する危機！！



デジタル技術を活用した交通サービスの必要性

【山間地域の課題】

高齢化が進む中、生活維持のための移動サービスの維持・拡充が求められるが…

- ・ 財政負担の問題
 - ・ 担い手確保の問題
- … これから維持・拡充は難しくなる

課題解決に向けて…



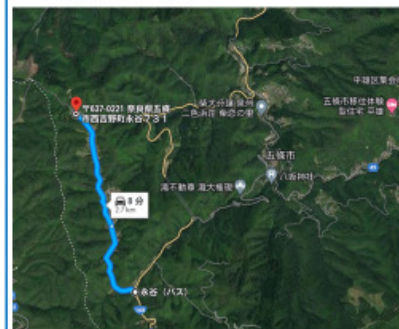
専門的知見による検討のもと、
**ラストワンマイルを担う『自動運転』等、
デジタル技術の活用を検討**



希望する実証実験の概要（予定）

○走行ルート（想定）

- ・ 国道168号 奈良交通路線バス「永谷停留所」から永谷集落内へのルートを想定（最大2.7キロメートル）
- ※どこまで行けるかは要検討



○実証実験を実施する上での懸念

- 山間地域において
自動運転が実現可能か。
- ・ 高野町富貴方面からの通過交通あり。
- ・ 狭隘な箇所あり。（特に中間地点にある「西吉野桜温泉」より北は全体的に狭隘）
- ・ 車両保管場所、転回場所の確保（地域の協力が必要）
- ・ 山間地における電波等の状況



② 地域の方との意見交換では、以下のご意見があった。

《地域の方の声》

- 今、すでに困っている。何らかの移動手段を早く導入してほしい。
- 買物からの帰りが大変。若い人がいれば送迎してもらえるが、今は年寄りばかりで車を動かせる人が少ない。
- 週に1回か、月に何回かでもいいので、集落からバス停や城戸、五條方面に行けるコミュニティバスを運行してほしい。
(バスの運行に都合を合わせる。)
- デジタル技術の活用も一つだが、すぐに実現は難しい。例えば日を決めてタクシーを1台借り上げて、乗り合わせて利用できるようなすれば、すぐにできるのではないか。
- 検討の対象地域としてもらっているのはありがたい。



地域の方とのご意見を踏まえ…

【短期的な取組事項として】

まずは、コミュニティバスや乗合タクシーなどにより、
何らかの移動手段の確保の検討

【中長期的な取組事項として】

デジタル技術（自動運転）による移動手段の
確保の検討

⇒ **並行して検討を進める必要がある。**



[短期的取組事項]

コミュニティバスや乗合タクシーなどによる移動手段の確保の検討

- ・ 現在、市南部の山間地域（西吉野町、大塔町）の地域公共交通のあり方について検討を進めている。
（地域住民向けにアンケート調査を実施、現在集計中）
- ・ その中で、現在コミュニティバス等が運行している地域だけでなく、永谷地区も含めて、地域公共交通の改善を検討する。

※ 課題

予算の確保、担い手及び車両の確保など



[中長期的取組事項]

デジタル技術（自動運転）による移動手段の確保の検討

- ・ 短期的な取組みとしてデジタル技術を要しない方法での地域公共交通の改善を検討するが、将来的には担い手確保が難しくなることも予想されるため、デジタル技術の活用についても継続的に検討を進める必要がある。

[山間地域の課題]

高齢化が進む中、生活維持のための移動サービスの維持・拡充が求められるが…

- ・ 財政負担の問題
- ・ 担い手確保の問題

… **これから維持・拡充は難しくなっていく。**

[令和5年度の取り組み]

- ・ 当該地区で**想定されるモビリティの試乗会**を実施し、**デジタル交通サービスに対する住民のニーズ**を計る。

